

※一部非公開

平成二十三年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問題

非公開

非公開

非公開

(宇野重規、『私』時代のデモクラシー、岩波新書、二〇一〇年、七一―八六ページ、抜粋・一部改変)

問一 本文の論旨を六〇〇字以内でまとめなさい。

問二 変化の激しい現代社会において、「意味のある選択」のために、あなたが大切にしていることは何か、本文の論旨を踏まえつつ、六〇〇字以内で述べなさい。

平成二十三年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

出題の意図

国際言語文化学科・琉球アジア文化専攻は、琉球・沖縄、および日本・アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、この専攻の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は、自己コントロールが絶えず求められる現代社会の陥穽を指摘し、そうした社会にあって人生の選択を意味のあるものにするために何が必要か、筆者独自の見解を提示したものである。本出題の意図は、社会における個人のあり方をテーマとする論理的文章の内容を正確に読み取り、論旨を的確に把握できるかを問うことにある。また、激しく変化する現代社会の中で「意味のある選択」をするために何が大切かを論述させることで、社会への洞察力、各自の学問的関心のありかとその長期的展望、目標達成への意志、発展的な思考力、論理構成力、文章表現力を総合的に見ることにある。